**連合愛知1万人総決起集会アピール**

　　連合愛知は、本日ここに「すべての働く者の処遇を改善し、底上げ・底支え・格差是正を実現しよう！」をスローガンに、２０１４春季生活闘争１万人総決起集会を開催した。

日本経済は、株価上昇や円高是正が進んだこともあり、景気は回復局面にあるが、自律的な成長には至っておらず、実態経済までには及んでいない。また、１９９７年をピークに雇用労働者の賃金は低下するとともに、雇用形態・企業規模による格差は拡大している。特に、２０００万人を超える非正規労働者の増大や１１００万人に迫る年収２００万円以下のいわゆるワーキング・プアの問題は、雇用や労働問題の範疇を超え、もはや社会問題化している。

一方で、２０１３年から物価は上昇に転じ、賃金の引き上げがなければ、いわゆる悪いインフレとなり、個人消費の低下を招き景気は大きく冷え込むことになる。今こそ、内需が大きく縮小したデフレ経済下での低成長からの脱却をはかり、人々が安心して暮らせる生活を実現するために、経済成長と整合ある所得の向上を実現し、経済の好循環につなげていく必要がある。

２０１４春季生活闘争は、１０年以上にも及んだデフレ経済の悪循環を断ち切り、所得向上を起点とした経済の好循環を実現させる闘いである。特に、すべての労働組合が月例賃金の引き上げにこだわり、すべての働く者の処遇を改善し、底上げ・底支え・格差是正の実現をめざし、社会全体に波及効果を高める運動を繰り広げていく必要がある。加えて、労働者保護ルールの改悪阻止に向けた取り組みや、震災からの復興・再生に引き続き全力を尽くしていく。

私たち労働組合は、社会的に広がりのある運動を展開し、安心社会を実現するために、働く者の声を結集して世論を喚起し、社会的なうねりをつくり、すべての働く者の生活改善・格差是正に全力で取り組むことをここに宣言する。

　　　　　　　　　２０１４年３月２日

連合愛知２０１４春季生活闘争１万人総決起集会